

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 24人（25人中）
- ・職員による自己評価 12人（12人中）

### ○実施期間

- ・2018年12月17日～28日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が21人ある。ただし、「わからない」が2人、「いいえ」が1人ある。施設は、20人定員であるため、指導訓練室は80㎡あり、基準面積を満たしており、他の事業所と比べ、決して狭いわけではない。「保護者用の駐車場があると助かる」という意見があるのは、駐車場が狭くて、保護者のクルマの駐車が難しいからだろう。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が22人ある。「マンツーマンで見てもらえ、安心している」という意見があるように評価されている。「わからない」が1人、「いいえ」が1人あるのは、「行政も、このことをもっと評価すべきだし、市民に訴えていく必要がある」という意見があるように、制度的な条件をよりよくしてほしい願う声だろう。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が19人ある。ただし、「わからない」が5人ある。「部屋の中で活動している様子を見ていないので、わからない」という意見があるように、施設内を、安全かどうかという視点で見たことがないからだろう。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が22人ある。「子どもの様子に気を配ってもらえ、安心して通わせられる」という意見があるように、虐待などの心配がないと評価されていることがうかがえる。ただし、「わからない」が2人あるのは、そうした状況を実際に見聞きしたことがないからだろう。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が17人ある。ただし、「わからない」が6人、「いいえ」が1人にある。防火防災訓練や、感染症の研修会は実施していることを、会報などをつうじて知らせているものの、伝わっていない人もいるからだろう。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が22人ある。ただし、「わからない」が2人あるのは、個人情報の取り扱いについて知らせているものの、そうした状況を実際に見たことがないからだろう。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」は、「はい」が24人（全員）ある。「細か

い配慮もお願いでき、安心している」という意見があるように評価されている。

- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が23人ある。「天気のよい日には公園に連れていってもらえ、活動が同じにならないように工夫されている」「学校が終わってからの安らぎの場で、親も安心して預けられる」「手作りおやつを楽しみにしている」「とてもすばらしいと思う」「生活の一部になっていて、いつもとても感謝している」「公園などでの外遊びをしてもらい、体力がついてきた」という意見があるように評価されている。
- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」は、「はい」が24人（全員）ある。「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者と面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつけられているか」は、「はい」が23人ある。「いつもとても丁寧に様子を伝えてくれて、うれしい」「毎日、子どもがどのように活動しているかを丁寧に説明してもらっている」「指導員から、よく話してもらっている」という意見があるように評価されている。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が4人あるのは、苦情を寄せた経験がないので、わからないからだろう。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が24人（全員）または23人ある。「職員から心づかいをしてもらい、ありがたい」という意見があるように評価されている。

#### ○職員による自己評価

- ・40の項目で、「はい」が12人（全員）または11人ある。全体として、高い自己評価となっている。
- ・「学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が10人ある。ただし、「わからない」が2人あるのは、子どもがきょう学校でどのように過ごしたかが、すぐにわかりにくいからだろう。
- ・「大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が8人がある。ただし、「わからない」が4人ある。この質問は、子ども理解を自己反省的に振り返るとともに、自分自身の成長を見つめなければならないため、回答が難しい。「わからない」と答えることで、自らを振り返る意識を持つことが重要と考えられる。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が7人ある。ただし、「わからない」が3人、「いいえ」が2人ある。外部の研修会への参加は、非常勤職員の場合は、本人の事情（家庭などの都合）でなかなかできない人もいることの表われだろう。

- ・「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」は、「はい」が10人ある。ただし、「わからない」が2人あるのは、経験の浅い人が自己反省的に振り返っているからだろう。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。いっそう努力を重ねたい。
- ・活動場所の面積は、基準を満たしており、他の事業所と比べて決して狭いわけではない。こうした状態や、保護者用の駐車場を新たに確保することは財政的にすぐには困難であることなどを、機会をとらえて伝えていきたい。
- ・指導員の配置人数は、財政的に厳しい中でも、障害の重い子どもはマンツーマンの体制を取っていて、基準よりもかなり手厚い。とは言え、手厚い対応の必要な子どもには、きめ細かい配慮をいっそうしていきたい。こうしたことを、機会をとらえて伝えていきたい。
- ・防火防災対策、感染症対策、個人情報保護などは、さらに留意したい。実施している状況を、機会をとらえて伝えていきたい。

#### ○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。内部の研修会などをつうじ、子ども理解などを学び合っていることの反映だと考えられる。
- ・内部の研修会の内容をさらに充実していきたい。主体的な学びとするため、講師の話を聴くだけでなく、集団討議の機会をつくることを重視したい。
- ・外部の研修会に非常勤職員が参加することは、本人の事情があり、簡単なことではないものの、機会をとらえて、参加をいっそう呼びかけたい。

### 4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2019年1月末より）

○ホームページへの掲載（2019年1月末より）